

内装古壁リフォーム用

速乾タイプのアク・シミ止め機能付き下地調整材

F☆☆☆☆

日本建築仕上材工業会登録

登録番号 0304007

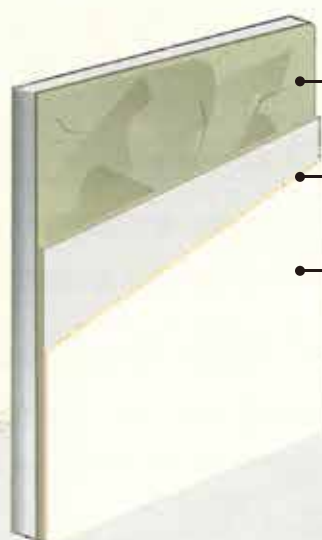
放散等級
区分表示 F☆☆☆☆

問合せ先 <http://www.nsk-web.org/>



速乾ぬりかえ 速 プラスター

- 速乾タイプなので、時間のロスが少なく、ぬりかえ作業もはかどります！



古壁

速乾ぬりかえ
プラスター

各種仕上材



関西パテ化工株式会社

用途・特徴

- 内装古壁リフォーム用、薄塗り速乾タイプのアク・シミ止め機能付き下地調整材です。
- 速乾タイプなので時間のロスが少なく、作業がはかどります。
- アク・シミ止め機能付きなので、古壁に直接施工できます。
- 薄塗りで伸びが良く、スムーズに作業ができます。
- フラットな下地に仕上がるので、上塗り材も塗りやすいです。

適応下地

- 内装古壁：けいそう壁・繊維壁・聚楽壁・砂壁など（いずれも塗り面がしっかりしていること。）（※漆喰など強アルカリ性の壁は施工できません。）

適応仕上材

- けいそう壁・繊維壁・聚楽壁・砂壁など（※漆喰など強アルカリ性の壁は施工できません。）

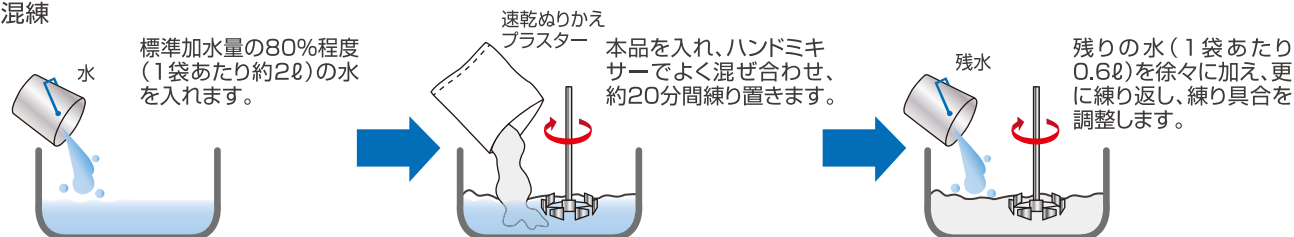
施工方法

- 事前確認

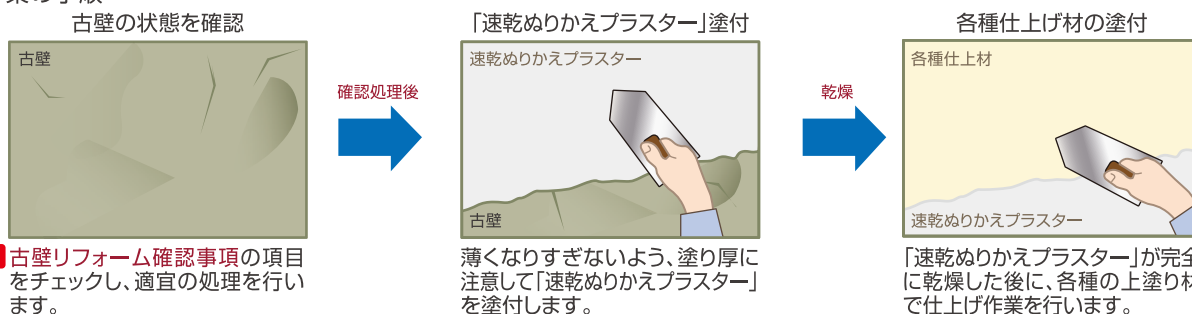
確認！古壁リフォーム確認事項

- ※古壁の状態を事前に現場確認し、施工可能か判断することが重要です。
改修不可能と判断した場合は古壁を剥がし、下地から作り直すことを検討して下さい。
- ▼古壁の種類を確認します。
（※古壁が漆喰など強アルカリ性の場合は、当社製品「白壁用めりかえプラスター」をご使用ください。）
 - ▼古壁自体の強度を確認します。
 - ▼ホコリ・その他付着物は乾拭き清掃し、除去します。（柱・巾木などのチリ際も清掃します。）
 - ▼アク・シミ汚れがひどい場合は「P-プライマー」で全面シーラー処理します。
 - ▼油が付着していると接着しませんので、完全に取り除いて下さい。
 - ▼凹部は平らに調整しておきます。
 - ▼カビがある場合、市販のカビ除去剤で除去します。また、サビの出る恐れのある箇所はサビ止めを施します。
 - ▼全面剥離のおそれのある壁は「ハクリンA」又は「ハクリンB」で全面を剥がします。
 - ▼ポロポロ落ちる程度の弱さがある場合は「カタメルボンド」で補強し、完全に乾燥させます。

1 混練



2 作業の手順



ご注意

- 塗り面はよく清掃し、塗付の際、ホコリ等を巻き込まないようにして下さい。
- 速乾性の為、チリ養生に注意して下さい。また柱や窓枠等に付着した場合は速やかに除去して下さい。
- 水分が残ったまま上塗りをかけると、ピンホールの原因となったり、アクが浮くことがありますので、よく乾燥させて下さい。
- 薄塗りしすぎるとアクが浮くことがあります。塗り厚には注意して下さい。
- 繊維壁など、凹凸が大きい場合、一度に厚付け過ぎると亀裂の原因になりますので、二度塗りするなど、下地に合わせて厚みを調整して下さい。
- 他の骨材やボンドと併用しないで下さい。
- 乾燥後、アク・シミが浮いて見える場合は、もう一度塗り重ねて下さい。

販売店・施工者様へのご注意及び、おことわり

- ・子供の手の届かないところに保管して下さい。
- ・目に入った場合は、水で最低15分間洗眼し、直ちに医師の診断を受けて下さい。
- ・誤って飲み込んだ場合は、水でよく口の中を洗い、直ちに医師の診断を受けて下さい。
- ・肌に付着した場合は、水と石鹸でよく洗い流して下さい。
- ・施工時から乾燥するまでの間は、湿気を除くため窓を開ける等、換気を行って下さい。
- ・空容器等の処理は、産業廃棄物業者に依頼する等、適宜の処理をして下さい。
- ・残材は、下水・河川・池・井戸・地下水等を汚染する恐れのある場所には廃棄しないで下さい。
- ・他の製品・ボンド等と混合しないで下さい。
- ・ロットにより多少の色違いを生じる事があります。